

エコカー部 電気自動車レース 技術賞 受賞！！

宮崎市の佐土原高エコカー部（津野大翔部長、11人）は、三重県の鈴鹿サーキットで開かれた電気自動車レースで特別賞の「技術賞」を受賞した。部員は「みんなで作り上げた青春が詰まった車体。自信につながった」と喜んでいいる。

佐土原高・エコカー部

出場したのは7月31日に開かれた「2022 Ene-1SUZUKA Challenge（エネワン鈴鹿チャレンジ）」（ホンダモビリティランド主催）のKV-40カテゴリー。充電式の単3電池40本を動力にした電気自動車で1周約5・8分のコースを3回走り、合計タイムを競う。

最高時速約80kmにもなる同レース。部員たちはこれまで培ってきた耐久レース向け車体製作技術の進化を追求した。車輪周りの金属加工や窓の熱成形など、部員がそれぞれの得意分野を生かし、ボディはサンドペーパーでつやが出るまで磨

電動車レース「技術賞」 車体カーボン形成高評価

き上げるなど、一つの工程を丁寧に仕上げ、約8カ月かけて全長2・7mの炭素繊維強化プラスチック製の車体を作り上げた。上位入賞はかなわなかったが「学生チームの中でも高いカーボン形成技術を有している」と技術賞を受賞した。ドライバーを務めた3年の津野部長（17）は「皆で協力した結果の賞。この体験を生かして来年はもっと良い結果を出してほしい」と後輩への期待を語った。（中城佑平）

電気自動車レースで「技術賞」を受賞した佐土原高エコカー部の部員（同部提供）



宮崎日日新聞
公式LINEサービス
9月12日
ダイジェストでも
配信

宮崎日日新聞
8月31日(水)付
掲載記事

エコカー一部 電気自動車レース 技術賞 受賞！！



特別賞の
「技術賞」
カーボン形成技術
高評価

